

温暖化対策技術プロジェクトチームのとりまとめについて

1. 調査・検討とそのとりまとめ方針

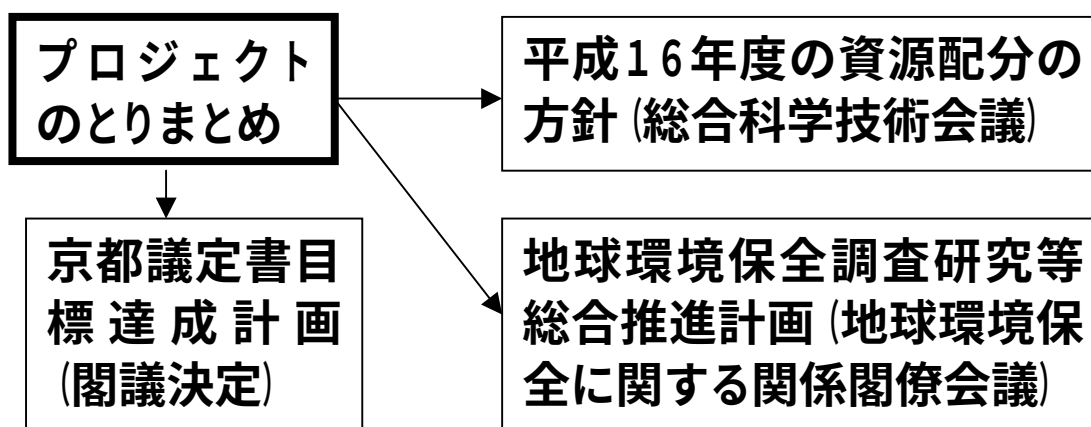
京都議定書における温室効果ガス削減目標の達成に資するため、

- 地球温暖化対策推進大綱に記載されている「省エネルギー技術」、「新エネルギー技術」及び「革新的環境・エネルギー技術」の具体的実現に向けて、研究内容、スケジュール等の進め方について調査・検討を行い、とりまとめる。
- 上記技術のみならず、第一約束期間（2008年～2012年）以降も見据えた、更なる省エネルギーや新エネルギーなどの具体的技術開発テーマをとりまとめる。
- その他、人材育成等の課題についてもそのあり方等をとりまとめる。

2. とりまとめの活用

本プロジェクトチーム会合のとりまとめは、総合科学技術会議として、平成16年度の資源配分の方針に反映し、政府としての技術開発予算の重点化に繋げる。

また、今後予定されている関連の我が国政府の計画策定に資する。



温暖化対策技術プロジェクトチーム調査・検討スケジュール (案)

第1回 8月1日

我が国の地球温暖化対策について

- 「地球温暖化対策推進大綱」(以下「大綱」)の概要(環境省)
- 地球温暖化対策技術開発の概況(事務局)

第2回 9月27日

関係省庁の取り組み状況について

- 経済省、文科省及び環境省の技術開発の取り組み状況(大綱の整理に沿って個別技術開発の内容、実施体制、実施スケジュール、期待される効果等)

第3回 10月7日

関係省庁等の取り組み状況について

- 農水省及び国交省の技術開発の取り組み状況(大綱の整理に沿って個別技術開発の内容、実施体制、実施スケジュール、期待される効果等)
- 自主行動計画等産業界の取り組み状況(技術開発関連事項を中心に日本経団連から聴取)

第4回 12月11日

二酸化炭素の回収・隔離・貯留技術について

- 三菱重工及び地球環境産業技術研究所の技術開発の取り組み状況

第5回 1月29日

温暖化対策に資するナノテクノロジー・材料技術に関して

- 物質・材料研究機構、産業総合技術研究所及び東京工業大学の技術開発の取り組み状況

第6回及び第7回 取りまとめ(案) 審議

以上